

ふるさと講座自然系第2回

「コウモリ観察会」のお知らせ

日没後に行動を開始するコウモリの姿を普段見かけることはまずありませんが、実は別海町には1万頭を超えるコウモリが棲息していると考えられています。今回の観察場所である道指定文化財奥行臼駅通所及びその周辺にはウサギコウモリとホオヒゲコウモリが棲みついております。夜になると餌を求めて飛び立ちます。そこを狙って捕獲し、学術調査のための詳しい記録を取って再び放しますが、その間を利用して講師の方に解説していただきながら観察します。

ウサギコウモリは下の写真のように意外とかわいらしく、またホオヒゲコウモリは北海道レッドデータブックでは希少種とされており、大変貴重なコウモリです。鳥のように自由に飛び回ることできる唯一のほ乳類であるコウモリの姿を、この機会にぜひ、間近で見てくださいませんか？

日時	平成19年7月23日(月) 午後6時30分～午後8時30分(雨天決行)
場所	奥行臼駅通所(別海町奥行15番地12)
講師	根室市歴史と自然の資料館 学芸主査 近藤 憲久 氏
日程	6:30～7:00 コウモリについてお話 7:10～7:40 コウモリの捕獲 7:50～8:30 コウモリの観察とお話
募集人員	25名(児童・生徒は保護者の方と一緒に参加してください。)

参加申込み先

郷土資料館へ電話・FAX・メール(裏面に記載しています)のいずれかにてお名前・電話番号をお知らせください。

申し込み受付期間

平成19年7月20日(金)まで。ただし、定員になり次第締め切ります。

その他

1. 虫除けスプレーとヘッドライト(お持ちでない方は懐中電灯)を持参してください。
2. 当日は現地(奥行臼駅通所)集合になります。車は国道沿いにある駐車場に止めてください。



加賀家文書館 第5回特別展のお知らせ 「江戸時代のノツケを探る」

～野付通行屋跡遺跡発掘調査から～

平成15年から実施された野付通行屋跡遺跡の発掘調査で、寛政11年(1799)幕府により設置された野付通行屋の建物跡や当時使われていた様々な遺物が発見されました。

今回、発掘調査の成果や出土した遺物の展示を通して、加賀伝蔵が活躍したノツケをご紹介します。

たくさんの皆様のお越しをお待ちしています。

期 間 平成19年7月2日(月)
～9月28日(金)

場 所 別海町郷土資料館
附属施設 加賀家文書館



関連事業「ふるさと講座・歴史系」

- 平成19年8月26日(日)
野付通行屋跡遺跡～発掘調査の成果～
 - 平成19年9月30日(日)
遺跡見学(野付通行屋跡遺跡・野付番屋跡遺跡)
講師・ガイド 別海町郷土資料館 主任 石渡一人
- ※その他、個人・団体の展示解説を随時実施しております。
詳しくは、下記までご連絡ください。

7月 郷土資料館のお知らせ

- 休館日
1日・7日・9日・15日
16日・21日・23日・29日
- 開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料
一般個人 300円
一般団体(10名以上) 240円
高校生以下は無料となります。

別海町郷土資料館だより No.96

発行日 平成19年7月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 このたよりでご紹介してきました野付通行屋跡遺跡発掘調査の特別展をいよいよ開催します。平成17年度に一部資料で開催しましたが、今回は、パネルによる詳細な解説やより多くの出土遺物を展示するために展示台も手作りで作成しました。多くの方にご覧頂きご意見など頂ければ幸いです。(石渡)